

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyac@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 加藤 真治  
幹事 兵藤 文男  
会報委員長 山下 雅則

2015 ~ 2016年度 国際ロータリー K.R. ラビンドラン 会長テーマ

Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2923回例会プログラム

[当年度=33回目; 当月=2週目]

2016年(平成28年) 4月11日(月)

## 1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. お祝い  
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)  
9. 幹事報告  
10. 出席報告  
11. 委員会報告  
12. ニコニコボックス報告  
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(4/18) ……※職業表彰  
クラブフォーラム(雑誌委員会)  
講師 雑誌委員会  
委員長 天野 櫻子 会員  
\* 第3四半期皆出席の発表  
(4/25) ……卓話  
講師 南山大学大学院ビジネス研究科  
教授 八木 エドワード ランツ 様  
(紹介者 杉浦世志朗 会員)
- 13:00 14. 本日のプログラム  
卓話 「だんだんBOXについて」  
講師 だんだんBOX 愛知  
代表 鶴飼 哲矢 様  
(紹介者 加藤大志朗 会員)
15. 謝辞  
16. 点鐘……〈会長〉  
17. 閉会宣言  
13:30 18. 散会

## 出席

会員総数 93名 出席免除 23名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名  
欠席 6名 出席率 93.02%  
前々回(3/28)の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 神谷強会員に、米山カウンセラーの委嘱状が届いておりますので、代読させていただきます。



## 会長あいさつ

## 刈谷 RC の会報誌の変遷

加藤 真治



刈谷ロータリークラブの会報の第1号はB5サイズの1枚で、創立の翌月の1954年4月の1ヶ月分をまとめて月報として発行されました。その4月9日に開催された第2回例会の名古屋RCの盛田秀平氏の卓話にこんな記事が記載されています。「本日はニコニコ箱の利用方法につきお話し上げること

に致します。(詳細説明は記載されていません)本日出席の市川さんは会員バッジがお見受け出来ませんから、ニコニコ箱へ御納金を願います。之がニコニコ箱の利用方法であります。(ニコニコ箱の利用実演で会員拍手)」とあります。このことから名古屋RCでは、こうした罰

金的な慣習があったことが推測されます。

1956年9月3日の例会から会報誌はB6サイズの週報に変更されました。

1961年1月8日号からは、週報はハガキサイズに変更され、3年余りこのような週報が続きました。

1965年7月から月報に変わり、ニコニコボックスの月刊の集計の掲載が始まりました。この月のニコニコボックスの金額は、年度初めということで、21,000円とあります。

1971年7月5日号からまた週報に変更され、ニコニコボックスの記事がごく簡単に掲載されるようになりました。7月19日号のニコニコボックスの記事には、「刈谷南RC合同ゴルフ大会で津田織義君優勝、秋田政昭君無断欠席お詫び、黒田弥八君会社内容について新聞掲載ニコBOXに戴きました。」とあります。

次に大きく週報が変わったのは、1994年7月からで、時の会長は内藤耕造さん、幹事は岡本戡紘さんでした。私がたまたま会報委員長でして、5月頃岡本幹事から7月から週報のサイズをA4に変更し、毎回会長挨拶を掲載するから準備をするように言われました。卓話につきましては、副委員長の鈴木敬士さんが是非、是非掲載しましょうと勧められまして、掲載することになりました。また、週報の「Weekly」の文字のデザインは私の妻によるものです。

## お 祝 い

4月の会員の誕生日…嶋津孝久、馬場理好、杉浦文雄、加藤正則、深谷嘉英、毛受豊、天野櫻子、後藤直樹、關淳之会員。

配偶者の誕生日…池田初枝（憲司）、大音三恵子（祖瑛）、神谷真由美（龍司）、塚本真知子（幸夫）、橋本貴美（恭典）、河内悦子（利夫）、加藤真由美（繁則）、村上眞裕美（由洋）、佐野三恵（彰彦）様。

結婚記念日…原田光二、岡本巧、室殿豊、石川覚雄、三吉茂俊、嶋津孝久、出口達也、神谷強会員。

4月度入会記念日…野村重彦、前田孝司、橋本恭典、平野和一、毛受豊、太田宗一郎、今村順、伊藤節夫、天野櫻子、中林久美、關淳之、小澤陽一会員。

## 卓 話

### 「だんだんBOXについて」

だんだんBOX 愛知  
代表 鶴飼 哲矢 様



だんだんボックスは、障がいのある人の絵の才能を社会に活かして仕事にして頂こうと応援するプロジェクトです。「だんだん」には、「ありがとう」の意味があります。2010年に始まり、今年で6年目を迎えます。これまで、地域の障がいのある方の

素晴らしい絵を様々な形でデザインにして地域の企業や団体、行政に広く採用して頂いてきました。今回は現在行っている活動の様子や広がりを中心にお話させて頂きました。最初の段ボール箱から、トラックやバス、コンテナ、自動販売機、工事現場の塀など都市にも広がってきています。小さなことでも1%ずつ、1人ずつの「生きがい」を増やしていけば、やがて大きな海になると考えています。愛知でも、皆様の応援で企業や団体などに参加の輪が広がってきています。地元の刈谷郵便局でも愛知の方たちの絵によるゆうぱっくの段ボール箱が販売開始しています。ゆくゆくは、パラリンピックなどの機会に、世界の皆さんに日本の障がいのあるアーティストの作品の素晴らしさ、社会で活躍している様子を見て頂けるようになったいいなという夢を持って活動しています。

## dandanbox





だんだんボックス

